

こたばの力 からだの力 こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和3年9月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



二学期が始まります！



緊急事態宣言の延長にあたり

— 感染力の強さが明らかに今までとは違う —

このことを十分に理解し、どのように日常生活を過ごすのかを、私たち一人一人が考えねばならないという極めて厳しい事態に直面しています。

二学期を向かえるにあたり、どうか、保護者の皆様には、ご家族の健康管理とともに、大切な人に「感染させない」という意識をもっていただき、登園前の健康チェック、送迎時の密を避ける工夫等をお願いいたします。

本園では、国や大阪府の動向をもとに、近隣の幼稚園等からの情報収集もしながら、その折々保育活動について判断していきたいと考えています。

考え方の基本方針は、幼児や教職員の安全第一です。行事や園外活動(遠足)等の実施に当たっても、まず感染症拡大の状況を踏まえること、その上で創意工夫できることと困難なことについては、整理しながら判断していきます。

例えば、今夏、プール遊びを断念したのは近隣園でも同様ですが、その代替として、園庭全体を広く使って、水遊び(泥んこ遊び)の機会を多く取り入れました。と同時に異年齢の園児たちの触れ合い活動も増やし、園内での活動の充実に努めました。その成果として、例えば、4歳児がトイレの後、寄り道？をしていると、気付いた5歳児が「部屋に戻りや」と一緒に送ってくれています。泣いている3歳児を見つけると、頭をなでながら、「お母さんに会いたいの？」と共感している姿も見られるようになりました。

幼稚園では、家庭生活で学べない、集団生活を通じた貴重な学びを経験しています。

感染症対策を講じながら、安全で落ち着いた環境づくりに取り組んでまいります。

緊急事態宣言の延長のため、夏祭りは、9月13日(月)、保育時間内で、クラスごとに時間を区切りながら実施することになりました。

この間、小縣会長様とは何度もご相談させていただき、常に、第一に安全確保、第二に子どもたちに楽しい体験の場の提供を確認してまいりました。役員の皆様には、変更のたびに苦心しながら粘り強く準備を進めていただき、頭が下がる思いです。と同時に、本園の子どもたちは幸せだと心から思います。

保護者の皆様には、一緒に参加できないのは残念ですが、どうかお家で子どもたちからたくさんお話を聞いてあげてくださいね。また、役員やクラス委員の皆様へのねぎらいの言葉もかけていただけましたら、嬉しく思います。



猛暑と豪雨、そしてコロナ感染者の激増と、環境変化への対応に苦慮した今夏でしたが、皆さまはいかがお過ごしでしたか。

豪雨のために流星群の観察ができなかったのですが、秋には存分にお月見を楽しみたいと思います。

さて、例年に比べて、私も家にいる時間が多かった今夏でしたが、一つ嬉しい発見がありました。

春先に孫と一緒に蒔いたみかんの種から、なんと



5本も苗が育っていたのです。その上、さすが、アゲハ蝶。すでに目ざとく見つけ、気付いたときには、早くも幼虫が住み着き、せっせと柔らかな葉を食べていました。

今も5本のみかんの苗木は元気に育っています。園庭にも移植したいと思います。

また、去年から育てていたカブトムシの幼虫4匹も無事にさなぎから成虫へと雄雌2匹ずつ孵化しました。今また、毎朝、好物のゼリーを与えながら、命のバトンタッチを実感しています。

